

# 債権者速報

複写転載および禁第三者秘密厳守

## 事後処理を弁護士に一任

平成 27 年 × 月 × 日

コンクリート 2 次製品製造業者

(株) ●●●●

負債総額 × × 億 × × 万円内外

会社名	株式会社 ●●●●
本店	東京都 × × 市 …
設立	昭和 × × 年 × 月
代表者	△△ △△
資本金	× × × × 万円
従業員	× × 名

昭和 × × 年創業のコンクリート 2 次製品製造業者。× 月 × 日までに事業を停止し、事後処理を ▲▲▲▲ 弁護士（千代田区 × × 町 … ▲▲ 法律事務所、電話 0 3 - × × × × - × × × ×）など 2 名に一任した。

業歴 × × 年を数え、× × 市の本社のほか、茨城県に工場、愛知県にも営業所を設け、ゼネコンや道路工事会社向けにコンクリート平板や偽石、ブロックなどを製造販売し、平成 4 年 × 月期は年商 × × 億 × × 万円を計上していた。ハンドメイドの偽石などのオブジェの評判は高く、× × 市の × × 公園や都心の著名ビル、関東の商業施設等で使用されていた。

その後、建設不況で平成 2 5 年 7 月期の年商は × × 億 × × 万円にまで落ち込み、前出の工場の設備投資や有利子負債が負担となっていた。翌 2 6 年 7 月期は売上高 × × 億 × × 万円とやや持ち直したが、散發していた不良債権もあって厳しい資金繰りを強いられ、支え切れなかった。

取引先各社からは支払遅延等の発生の話は聞かれず、「急な話で驚いている…」との声が多かった。ただ、事業停止の連絡がきちんと行き届いていないところもあり、「噂を聞いてこちらから直接弁護士に問い合わせた。無責任極まりない…」とコメントも聞かれ、対応にズサンな様子も見受けられた。

弊紙『企業特調』でも何度か取り上げており、直近の × × 号（H × × 年 × 月 × × 日付）では、「受注も販売先まかせて、先の読めない経営が続き不安定な中、業績回復に

具体策はなく、ギリ貧経営からの脱却は困難で先行きの動向に注意を要す」として警告を発していた。

これまでに判明した取引先と債権額は次の通り（一部推定も含む）。

××工業	取引あり、3500万円
△×商業	取引あり、金額未詳
×△社	取引あり、80万円
××興業	数年前から取引なし、債権はゼロ
●×社	10年以上前から取引なし、債権はゼロ